

2017年9月

内閣総理大臣
安倍晋三様
東京都千代田区永田町 1-6-1

マトウ・トゥガン(Muta Tugang)
ロング・ジェイク村村長(Headman of Long Jaik)
サラワク州ベラガ(Belaga, Sarawak)
マレーシア

拝啓

私はロング・ジェイク¹ (Long Jaik) というプナン族の村の村長です。私たちはボルネオの深い熱帯林に住んでいます。日本がサラワクの木材を使ってオリンピックのための新国立競技場建設に取り組んでいることを知り、この手紙を書いています。新国立競技場建設に使用されている木材が、シンヤン社という伐採会社からのものであると聞いています。私たちはこの会社を非常によく知っています。というのは、彼らは約 20 年間、私たちの同意を得ることなく私たちの土地で操業し、私たちの森林、そして生活と文化の基盤を破壊してきたからです。私たちの村で起こってきたことを考慮し、日本でのシンヤン社の木材の使用を止めるよう総理の影響力を行使してくださるよう、お願いいたします。

私たちプナン族は、当初は移動する狩猟採集民として、現在は定住コミュニティとして、かねてよりボルネオの熱帯林で生活してきました。私たちの生活は健全な環境と熱帯林に大きく依存しています。これらの祖先の土地は、私たちの父や祖父、さらにその父や祖父のために与えてきたのと同様に、森林は私たちの暮らしに必要なもののみでなく、アイデンティティと満足できる生活状態も提供します。

シンヤン社は私たちの村の地域で非常に猛烈な勢いで伐採しています。彼らのトラクターが丸太を引き出す時、ラタン、果物の木、サゴなど周囲の全てをなぎ倒します。木材を引き出す時、彼らは私たちの樹木や森林資源への配慮も、私たちの文化や権利への尊重もありません。彼らは伐採する場所において、全てを破壊します。配慮は全くありません。彼らはただ伐採し、見返りとして私たちに与えることもなく、欲しいものを何でも取っていきます。

シンヤン社は、私たちの祖先から受け継いできた森を承諾や同意なしに伐採してきています。彼らが私たちの意見やニーズを尋ねてきたことはありません。したがって、私たちは道路封鎖と裁判所へ訴えることで同社と闘ってきました。しかし、私たちの訴訟はまだ進行中で、その間シンヤン社は私たちの森林の伐採を続けています。彼らはまだ私たちの森林からできるだけ多くを取り出したいと考えています。

総理大臣、どうかシンヤン社が私たちから盗んだ木材を日本が受け入れないようにしてください。日本がこの木材を受け入れ続ける限り、彼らは毎日、森林の伐採と丸太の搬出を続けます。私たちの森林、私たちの樹木、木材は使い果たされ、最終的には枯渇してしまいます。そして私たちの暮らしはますます難しくなります。

以上よろしくお願いいたします。
共感してくださることを期待しています。

敬具

¹ 訳注：マレーシア、ボルネオ島のサラワク州に位置する。